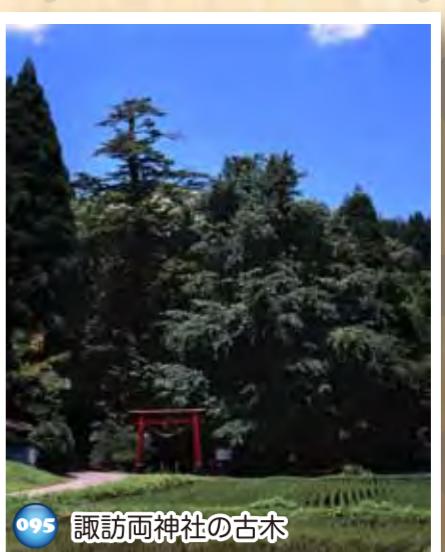


歴史探訪



イチヨウは周囲9m、高さ19.8m、寄り添うように立つモミの木とイヌマキは、モミが周囲4.75m、高さ32.8m、イヌマキは周囲3.75m、高さ22m。いずれも樹齢は400年以上と思われる。

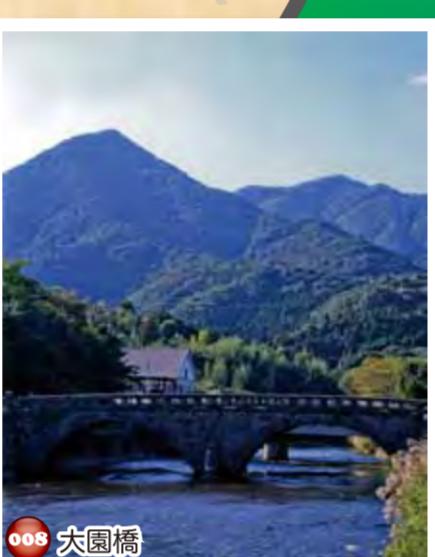


笠野原台地はシラス土壌のため飲み水や農業用水に困っていた。そこで人々は井戸を掘って生活用水などに使った。この深井戸は64mと深く、牛にロープを引かせ、つるべで水をくんでいた。



波之上神社境内で祭典を行ひ、刀、長刀、呂、鬼人、田の神の5つの舞を同時に舞いながら御輿と共に町内を巡行する。もともとは八坂神社の祇園祭で行われた神楽舞である。

明治37年5月に完成しためがね橋(復式アーチ型)。全長30m、巾3.1m、高さ約5mで、大隅地方に数少ないめがね橋として貴重である。



輝北歴史民俗資料館



宝冠をかぶり、右手に宝剣、左手に宝珠を持つ菩薩像で蓮の形の台座の上にある。



観音院跡中世供養塔群



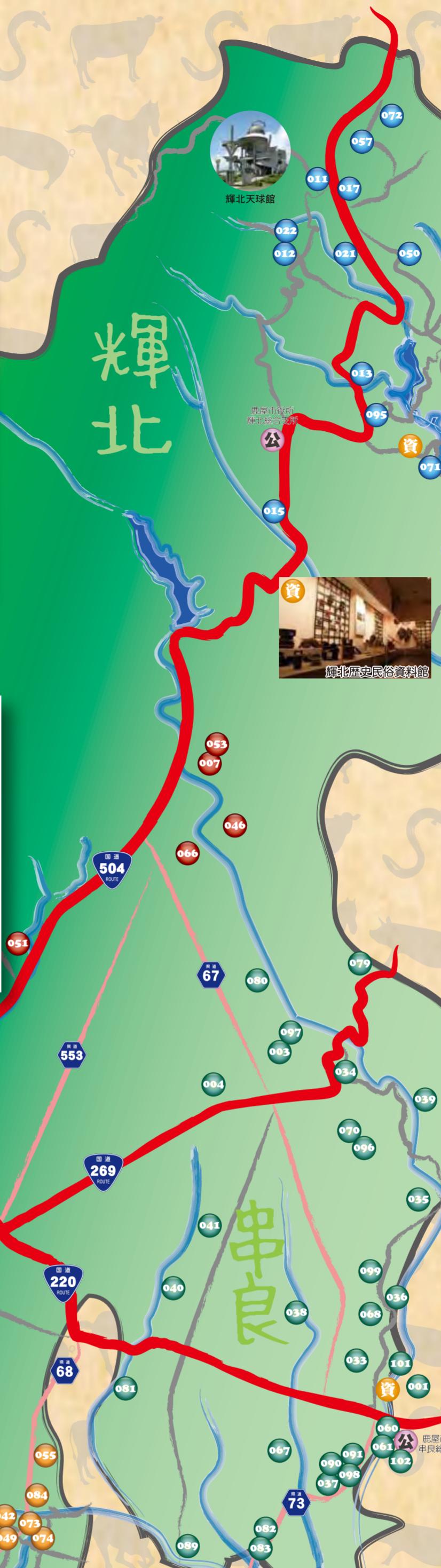
鎌倉時代から戦国時代にかけて肝付氏と富山氏による地域の開田作業や戦乱時の供養塔群で、洞穴の中に約90基の石塔が並んでいる。



1751年(寛延4年)の作で鈴持ち田の神舞型では最も古いものとされる。コシキを頭巾風にかぶり、袖の長い上衣を着ている。右手にシャモジを、左手に舞用の鈴を持っている。



王子遺跡資料館



- 1 短甲・衝角付冑
- 2 野里の田の神
- 3 山宮神社の春祭りに伴う芸能
- 4 笠野原土持堀の深井戸
- 5 古銭
- 6 板碑
- 7 中津神社本殿
- 8 大園橋
- 9 花岡町花岡山淨福寺の小型阿弥陀如来尊像
- 10 合粒寺石像群
- 11 仁王像
- 12 歌丸の六地蔵
- 13 一石五輪塔
- 14 庚申地蔵
- 15 丸山寺の古石塔群
- 16 福部村の三尊石仏
- 17 下方の六地蔵
- 18 谷田の六地蔵
- 19 下平房の田の神
- 20 中福良の田の神
- 21 宮園の田の神
- 22 歌丸の田の神
- 23 八幡神社境内の田の神
- 24 餅屋敷の觀音
- 25 荒平の六地蔵塔
- 26 長谷觀音・長谷城跡 中世石塔群
- 27 春日神社境内の觀音像大乘妙典説碑
- 28 烏ヶ山の月待供養塔・觀音
- 29 木場薬師および薬師堂跨額
- 30 上野町寺田の庚申塔
- 31 車田の田の神
- 32 大牟礼の田の神
- 33 大塚原の六地蔵塔
- 34 生業須の六地蔵塔
- 35 柚木原墓地の平面六地蔵塔
- 36 中郷の田の神像
- 37 岡崎上の田の神像
- 38 南木池の田の神像
- 39 田中屋敷の田の神像
- 40 中山寺の庚申塔
- 41 鳥之巣の庚申塔
- 42 下名真角の田の神など
- 43 上名苦野の田の神など
- 44 上名角野の本觀音
- 45 上名地蔵
- 46 六地蔵塔
- 47 小鳥神社の庚申塔
- 48 合粒寺跡
- 49 下名真角の古石塔
- 50 德留の虚空蔵菩薩像
- 51 神川町八月踊り
- 52 大始町西方棒踊り
- 53 鉤引き祭り
- 54 しか祭り
- 55 八月口説踊り
- 56 田の神舞
- 57 朝倉太鼓踊り
- 58 王子町鉢踊り
- 59 高須町の刀舞
- 60 鶴鳴山の古丸跡
- 61 地頭館仮屋跡
- 62 正安の五輪塔
- 63 上名赤野の塔群
- 64 下名川北天神原の五輪塔
- 65 花岡島津氏歴代墓地
- 66 観音院跡中世供養塔群
- 67 白寒水城跡五輪塔群
- 68 中郷の野原墓地の納骨宝塔
- 69 西目川路の逆修古石塔群
- 70 北原墓地逆修古石塔群
- 71 加須田の城跡
- 72 朝倉の懸れ念仏洞
- 73 金剛経一万巻読説所碑
- 74 下名井神島の宝鏡印塔
- 75 蓬台寺跡の中世石塔群
- 76 伊地知氏家の五輪塔
- 77 上谷の板碑
- 78 狩子目清水の石塔群
- 79 立小野の古石塔群
- 80 アンダ堂墓地古石塔群
- 81 松岡観音堂の古石塔群
- 82 北郷どん墓地古石塔群
- 83 野崎屋敷の古石塔群
- 84 下名川北の石塔群
- 85 前中用水路の水神碑及び井戸改修記念碑
- 86 鶴戸神社境内の野町観音
- 87 五条寺跡の住持の供養墓など
- 88 下名鳥居観音
- 89 上小原4号古墳
- 90 岡崎15号古墳
- 91 岡崎20号古墳
- 92 いぬまき
- 93 クヌ
- 94 苫田川産カワゴロモ
- 95 諸甫両神社の古木(イチヨウ・モミ・イヌマキ)
- 96 北原墓地の銀杏
- 97 山宮神社境内のナガ
- 98 事代主神社境内のクヌ
- 99 十五社神社境内の銀杏
- 100 横尾虎のひげんまゆみ
- 101 象嵌装大刀外中尾六号地下式横穴出土金属器
- 102 大賀ハス



七狩長田神社の境内で大きくなじ葉を広げる樹齢約800年の大木である。根回り約10.8m、高さ約25mとなり、図り知れない生命力を感じさせる。



約1,500年前のもの。ツバとハバキに心葉文(ハート形)、柄頭部分に二重半円文の銀象嵌が施されている。あわせて、3体の人骨、多数の鉄製品が出土した。



千葉県剣見川地区で発掘された2,000年以上昔(弥生時代)のハスの実から発芽・開花させたもの。故国分重春先生(元串良中学校教諭)の指導のもと、株分けによって現在まで生育されている。



田の神像に山水が付いた田の神で、像高93.5cm、山水の高さは52cm。渦巻き模様のコシキをかぶり、袖の長い上衣と袴をつけている。左手はシャモジ、右手はスリコギをもつ。頭上と胸元、山水の面には磨崖仏風に小仏らしいものが彫られている。



鹿屋市内指定文化財一覧

(1~4は県指定、それ以降は市指定)